

Vol.1 (2007-5)

Our Class Room



創刊号

- ・会員作品
- ・先輩さんこんにちは
- ・先生はあなただ！
- ・美学特集／サインの展覧会

皆さん、またお会いできて嬉しいです。ノープロ以来、久しぶりですね。

この会報は、皆さんの作品を1枚ずつ掲載する他、様々な企画を通してコミュニケーションして頂くの冊子です。より面白い内容を試していきたいので、ご意見ご提案を宜しくお願い致します。

(ORC学級委員／湯河原アキ)



河守 蛭「心安（うらやす）」 2007.04 アートペン&エアープラシ&パシコン画

2007.05.10



雪生「妃の憂鬱」 2007.04 鉛筆&ペン画



TAKA「春のプロポーズ」 2007.05 アクリル画

2007.05.10

湯河原アキ「ハート降る風景」

2004. 07. 13 ペン & パソコン画
病院音楽会プログラムに使用

歌とピアノの 楽しい音楽会



湯河原アキ「にゃんこの音楽室」

2007. 04. 09 ペン & パソコン画

先輩さん、
こんにちは！

似顔絵師 / 更田幸代さん

(ひだ清見観光協会所属・きよみ似顔絵工房)

今回は、OCRにお越し頂きありがとうございます。
ございます。

「こんにちは、宜しくお願い致します。」

実は、飛騨は行きそびれた所なんです。

「まあ、それは残念！せせらぎ街道とか、
自然が一杯ですよ。是非お越し下さい。」

いつ頃から絵を始められたのですか？

「記憶では幼稚園頃です。外で遊ぶよりは
家で絵を描いているのが好きでした。」

今回お借りした3点は、いずれも似顔絵
ですね。線が滑らかだし、雰囲気暖かい
ので、気に入ってます。

「ありがとうございます。似顔絵を描き

昭和四六年六月一四日生。夫、娘(各)。

岐阜県高山市在住、兵庫県尼崎市出身。

主婦業の傍ら、イベントでの席描き、タ

ウン誌の連載業、媒体や受注似顔絵等を幅

広く手掛ける。趣味は音楽鑑賞、ペット。

<http://ni-gaeki.yomi-hi-da-ch.com/>

始めたのは、中学生の頃、学校の先生の似
顔絵を面白おかしく描いたのが予想外に受
けた事がきっかけです。」

その後美大へ？

「いえ、絵画の勉強は大学卒業後です。美
術系専門学校に入り直し、2年間イラスト
レーションを学びました。その専門学校は



大塚愛

美術系大学受験予備校も併設されていて、デッサンに大変厳しいところでした。夏休みには美術系大学受験の為のデッサンのセミナーもあり、大変勉強になりました。」
プロデビュ―は、その在学中ですか？
「はい。似顔絵師募集の求人広告を見つけて、応募したところ採用されました。」

似顔絵がやはり一番好きですか？
「顔も好きですが、そもそも人間全体が好きなんです（笑い）。実は決して出来の良い学生ではありませんでした。結構壁にぶつ



奥田民生

かってましたよ。そんな中で、ヌードデッサンだけはクラスで一番でした。」

いろいろな壁があるのでしょね。一番の壁は何でしたか？

「壁と言えるかどうか。私は結婚と出産で、数年間ブランクがあるんです。新生活はそれなりに大変で、楽しくて。でも、どこか寂しいんですね。そして気が付いたんです、私はやはり絵を描く人間だと。」

成る程、止められて、改めて気付かれた訳ですね。どうでしょう、絵を描くOCRのメンバーに、一言頂戴できますか？

「絵を描く事は楽しいです。でも決して楽ではありません。壁にぶつかる事もあるでしょう。そんなにお金にもなりません。でも、どうか描き続けて下さい。そうすれば、あなたの中できつと何か掴めるはずですよ。」

「珈琲が得意で、アルコールは苦手！」

絵ではいかがですか？

「御免なさい、冗談です。生き物の絵が得意で、架空なものの絵は苦手です。」

ありがとうございます。じゃあ、今度お酒を一緒にしましょう！

「あら、嬉しい。苦手だけど、好きなんですよ。」

参りました！



倅田來未

今月の
生徒さん

先生は

あなただ！

この雑誌では、ノープロの様にテーマを設定しませんが、代わりにある生徒作品を毎回掲載します。生徒作品　つまり、皆さんに批評して貰いたいのです！　先生は皆さんです。批評コメントを湯までお送り下さい。次号でそれを掲載し、今度はその批評についていろいろ議論しましょう。これは勉強になりますよ。

さて、今回の生徒さんは、A氏（29）です。ある茶屋さんの商品包み紙をデザインされました。紙の形はこれで良いとして、さあ、このデザインを指導してあげてくだ

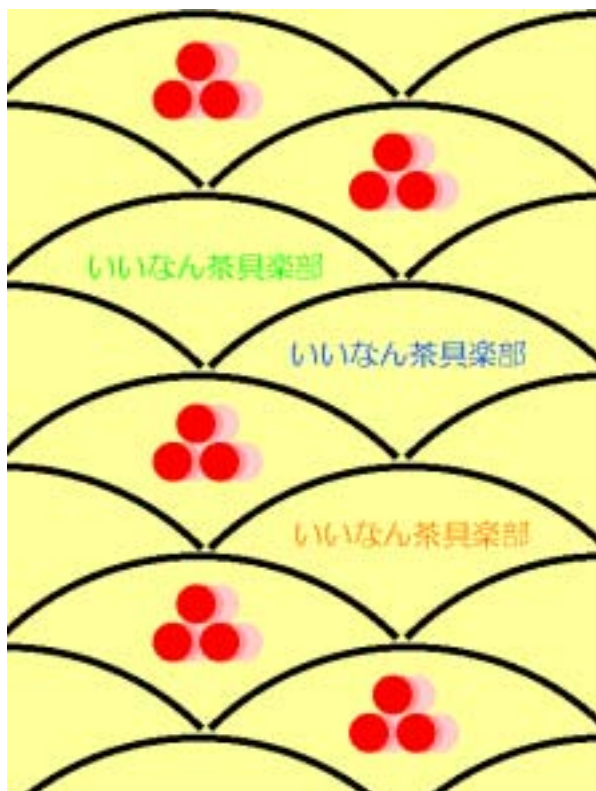
さい。批評コメント送付要領はこちら！

送り先 / grosshundi@yahoo.co.jp

締切 / 5月末日。多少前後可。

書式 / フリー。参考書式として、このデ

ザインの優れている点と劣っている点を1箇所ずつコメント下さい。



美学特集 /
サインの展覧会

狭い部屋を整理していたら、昔の稚拙な作品が出てきました。サインが記されていました。今のものとは違うけれど、確かに見覚えのある自分のサインです。何だか懐かしくなりました。サインは、画家が大切な自分の作品に、最大限の魂を注ぎ込んだ証です。だからサインもまた、画家の個性を反映した芸術作品のほず。そのサインに至るまでには、長い道のりがあった事でしょう。そんなサインの展覧会もまた、非常に有意義な事だと思えます。

先ず、3人の画家のサインを

平八郎

福田平八郎

ロージェ・ド・ラ・フレネエ

パブロ・ピザソ

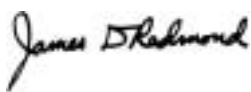
見てみましょう。西洋人の2人のサインは、何とも読めそうで読めないサインですね。日本人のサインは、既に印鑑文化の片鱗が現れています。

サインと言えば、西洋では元々は責任の所在を明確にする署名であり、日本の印鑑に相当します。従ってサインは、誰にも真似できないオリジナルであるべきなのです。印鑑文化の日本では、サインは一般的には出番は余り無く、それゆえにサインと言えばアルファベットを連想しがちです。

西洋では、サインは契約書だけでなく、手紙の終わりにも記す等、日常的なものです。なので、誰でもサインを持っています。西洋人のサインは、それが読める



ハンス氏



ジェームス氏



プロイス氏



ウルブリヒト氏



平岡氏



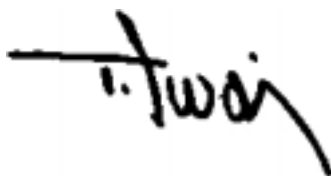
鈴木氏

かどうかは（執筆者が日本人だから
 でしょうか）余り考えられている様
 には思えません。むしろ文字の図案
 化を楽しんでいる様にも思えます。
 比べて日本人のサインは、きちんと
 上手に書かれている感があります。
 （以上のサインは、本人直筆のサイ
 ンを複写させて頂きました。）
 但し、日本人でも画家のサインは、
 それ相應に図案化されています。そ
 こは職業柄そうだったと思われま
 す。やはり絵に記す場合には絵の一
 部に成る訳ですからその方が良い
 かも知れませんね。（以上のサインは、
 執筆者が正確に模写しました。）

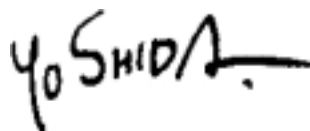
さて、メンバーのサインを一覧し
 ます。独断と偏見で執筆者のコメン
 トをサインに添えました。どんなサ
 インが集まるか楽しみにしていた処



伊勢田画伯



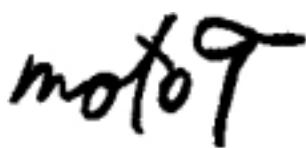
岩井画伯



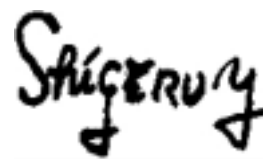
吉田画伯



山内画伯



武部画伯



柳瀬画伯

yukio

雪生
yとk iでバランスを採ったサイン。ちょっと斜めが良い。



TAKA

日本人らしく印。却ってどんな絵の中にも存在感を漂わせている。

湯河原アキ

例に挙げた日本人画家のいろいろなサインを参考にしたのが解る。

河守蚩

ペロッと舌を出した人の顔にも見える、愛嬌のあるサイン。

菱田博俊の英語と平仮名

図案化あり、判子あり、とバラエティに富んでおり、さすがクリエイターと感じました。(本人の直筆サインを複写しました。)
最後に、日本語とアルファベットで、同じ人がサインを作ったらどう違うかを執筆者自身で試してみました。名前が長いので、まともにもアルファベットを並べるのはまとめるのが大変でした。一方ひらがなでもサインになってしまうのは面白い発見でした。

発行 : Our Class Room

<http://blogs.yahoo.co.jp/ayugawara>

編集 : 湯河原アキ

grosshundi@yahoo.co.jp